

# 第19回 兵庫便教会 報告

第19回兵庫便教会を3月4日(土)芦屋市立打出浜小学校のトイレをお借りして開催いたしました。今回は打出浜小の先生3名、そして中学2年生の生徒が参加してくれました。なかなか掃除にまで手が回らない学校の状態を受けて、10名で男子トイレを徹底的に掃除することにしました。

最初に掃除前のトイレの状態を確認し、気持ちを入れて掃除を始めました。

少しでも良い環境の下で生活し、心の荒みを取り除きたいという思いが参加者全員の掃除する姿から現われていました。特に中学2年生の生徒は黙々とそして、丁寧に作業を進めており、大人の心を揺さぶりました。



数年前に改装しているトイレでしたので、掃除後の雰囲気はまったく違ったものとなりました。

感想の交流では以下の話がありました。

・汚い場所を掃除することに躊躇があったが、  
勇気を持ってやってみると思ったよりも簡単に取れた。何事も同じだと思う。

・外で掃除をすることで学びが出てくる。自分がいつもしているところだと慣れてしまって見えにくいことがある。

・休みたい土曜日の朝に来て、自分の学校の掃除をすることは大きな意味がある。

・言葉でなく、姿で見せていくことで教育がなされると思う。

・何事も続けることが大切。 ・掃除をして我を取り除くことができるのが嬉しい。



みんな様々な苦しい状況を抱えています。そんな中、同じ時間を過ごし、湧き出てきた思いを共有することを通して、前に進める勇気を持つことができました。この会の持つ役割を改めて感じる事ができ、ますます精進していこうと思いました。ありがとうございます。

(文責：木田重果)